研究課題番号	S2-10
研究課題名	海底プラスチックごみの実態把握及び回収支援に向けた手法・技術の開発
研究実施期間	令和 5 年度～令和 7 年度
研究機関名	東京海洋大学
研究代表者名	東海　正

１．評価結果

評価ランク：A

２．委員の指摘及び提言概要

魚網によるマイクロプラスチックの回収効率を求め、その解析法を開発、漁場のゴミの生態系への影響評価や消費者が支払い意思を持つ、また、生物による摂餌行動でプラスチックの微細化などの実験を提示するなど、海洋へ流入したプラスチックの現状把握、回収、その影響、社会の関心など統合的な取り組みを高く評価する。なお、プラごみの量や空間的分布図といった具体的成果やその微細化がどのような海底環境でどの過程がどの程度微細化に貢献しているかといった包括的な理解の進むことが必要である。３テーマの総合化、プラスチック汚染対策における政策的提言、国際誌への発表、一般市民や社会に公表・還元するシンポジウムの開催を期待する。